

令和6年度 就職氷河期世代就労困難者支援モデル創出業務
プロポーザル審査基準

公開用

評価項目	評価基準	配点	係数	点数		
1	事業実施方針	業務目的などの理解度が高く、業務取組に対する基本的な考え方についての確に提案されているか。	5	× 1	5	
2	事業内容					
	(1)	支援対象者の掘り起こし	自社事業や企業・関係団体とのネットワーク活用等により、効果的な参加者募集が期待できるか。	5	× 1	5
			支援対象となる者へ広く周知する工夫があるか。	5	× 1	5
	(2)	企業開拓及び企業支援	就職氷河期の就労の場となる企業へ広く周知するとともに、自社事業や企業・関係団体とのネットワーク活用等により、効果的な企業開拓が期待できるか。	5	× 1	5
			企業支援は、支援対象者の就労マッチングや就職後の職場定着に関して効果が高いものとなっているか。	5	× 1	5
	(3)	支援対象者のスキルアップ支援	支援対象者の特性を理解し、それに応じた効果的な内容及び手法が提案されているか。	5	× 1	5
			支援対象者のニーズに対応でき、就職活動及び就労後に役立つスキルが獲得できる内容及び手法が提案されているか。	5	× 1	5
	(4)	就労や社会参加に向けた伴走支援	支援対象者からの相談に適切に対応するとともに、関連する事業や支援機関にリファーできる体制となっているか。また、キャリアコンサルタント等の有資格者を配置できるか。	5	× 1	5
			参加者とのマッチングに効果的な内容・手法が提案されているか。	5	× 2	10
			就労後の定着支援に効果的な内容・手法が提案されているか。	5	× 1	5
			効果的な事例発信により取組の拡大が期待できるか。	5	× 1	5
	(5)	KPI	就職者数等の目標値は、基準以上でより高い数値が提案されているか。	5	× 2	10
			就職者数等の目標値は、事業実施により目標達成が期待できる実現可能な数値が提案されているか。	5	× 1	5
	(6)	就職氷河期世代支援事業の考察	就職氷河期世代をはじめとする就労困難者の就労支援手法について考察できる事業内容となっているか。	5	× 1	5
3	実施体制・スケジュール	業務体制が具体的に示されており、業務を適切に実施するために必要な知識・経験等を有する職員等の配置体制が確保されているか。	5	× 1	5	
		適切かつ現実的なスケジュールとなっているか。	5	× 1	5	
4	実績	本業務と同種・類似の業務実績があるか。	5	× 1	5	
5	委託料の総額	見積額は提案内容に沿った妥当なものとなっているか。	5	× 1	5	
合計					100	